



滋賀県議会議員

# 奥村よしまさ 県政レポート

Okumura Yoshimasa Kensei Report

Vol.65

令和5年3月発行



## 滋賀・草津をもっと元気に!

政府の発表により、3月13日から新型コロナウイルス感染症対策におけるマスクの着用が個人の判断に委ねられることになりました。もちろん、これもケースバイケースで、医療機関受診時や高齢者施設訪問時、混み合った電車・バスの中など、今後もマスク着用が推奨される場合はあると思いますが、ようやくマスクから解放されたと喜んでおられる方も多いのではないのでしょうか。

これでまた一步脱コロナが進んだわけですが、今後も、医療、観光、教育、経済をはじめ、様々な分野でこれまでの遅れを取り戻しつつ、さらに前進していけるよう、県政においても効果的でムダのない施策を実施していかなくてはなりません。二年後には国スポ・障スポの滋賀県開催、さらに大阪・関西万博の開幕が控えています。私も楽しみにしておりますが、これらに向けても、これから皆さんと一緒に、関西、滋賀、そして草津を大いに盛り上げていきたいと思っております。

滋賀県議会2月定例会議にて下記項目について質問を行いましたので、要約してご報告させていただきます。(令和5年2月22日一般質問より)

### 「シン・ジダイ」について



知事はこの新年の挨拶で、いくつかの標語を発言されています。「Beyond(ビヨンド)コロナ」、「健康しが2.0」、そして「シン・ジダイ」です。「シン・ジダイ」の「シン」には、新しいの「新」、一歩進むの「進」、未来に伸びるの「伸」、一本芯の通った「芯」、こころの健康重視の「心」、みんな仲良く親しくの「親」、本当の意味の「真」など多くの意味が込められているということですが、「シン・ジダイ」について知事から解説をお願いします。

<知事の回答>

「シン・ジダイ」は、令和5年度を迎えるにあたり、県の取組姿勢のキーメッセージとして出しました。今後、コロナ禍で顕在化した課題に応えながら、二期目の基本構想実施計画および、行政経営方針に基づき、「健康しが」の実現を目指して、次の世代の子ども・若者と共に歩んでいく未来を「シン・ジダイ」と表現いたしました。「シン」には、私たち自身に問いかけ、様々な意味に置き換えながら、行政課題、施策、効果等を考え、ともに取り組み、新たにチャレンジしていく重要性も込めたつもりです。



新しいという意味での「新(シン)」であれば、知事が就任当初から掲げておられます「新しい豊かさ」があります。年頭の挨拶では、「(仮称)新しい豊かさ研究会」をつくり、県民とともに最新・最高の知見を集め、より効果的な手法で新たな指針づくりを検討するとおっしゃいましたが、新たな指針とは、どのようなものか伺います。

<知事の回答>

正直まだこれからですが、知事就任以来、今だけ、モノだけ、お金だけ、自分だけの豊かさではない豊かさというのを、みんなで追及していこう、実現していこうという呼びかけをしてきました。そういう中で、人口減少、コロナ禍、災害、ウクライナ侵略等々、この先どうなるんだろうと思われる方も多いと思います。だからこそ、何が必要で、大切なのかを、知事だけでなく、行政だけでなく、世界の最高の知見も取り入れ、何か見出すことができなかと考えています。

コロナに直面して三年、私自身がWeb等で色々な方々と接してきた経験を広く県民の皆様方も共有しながら学び合えるような、そういう場をイメージしながら、来年度、方向性を見出ししていきたいと考えています。



「シン」の中で、未来に伸びるの「伸(シン)」でしょうか、「シン・ジダイ」の柱のひとつに「子ども・子ども・子ども」を掲げておられます。この中でも最重要政策課題である少子化問題の克服について、知事の決意を伺います。

<知事の回答>

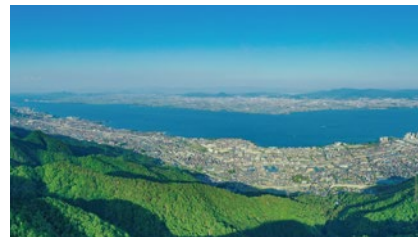
出生数や合計特殊出生率の低下について、私も重く受け止めています。若い世代が安心して就労、結婚、出産、子育てにかかる希望を叶えられる環境を作っていけるよう、滋賀県知事として全力で取り組んでまいります。また、この問題は全国的な問題であり、全国知事会のプロジェクトチームのリーダーとして、関西広域連合の連合長として、そういった立場も活かしながら、こども政策の充実について、国にしっかりと提言してまいります。



滋賀県にとっての中心の「心」、真っ芯の「芯」でしょうか、滋賀の自然環境についてです。滋賀の森林は、琵琶湖の水源のかん養や、地球温暖化防止の他多面的機能を有しており、県産木材の利用促進により、健全に未来へ引き継がなければなりません。県として今後どのように県産木材の利用を進めるのか伺います。

<知事の回答>

木を暮らしに活かす木育を進めています。来年度は、木育拠点の整備に着手し、引き続き木育指導者を育成してまいります。また、木造化促進アドバイザーの助言により、公共施設や住宅以外の民間建築物の木造・木質化を促進します。琵琶湖環境部に「びわ湖材流通推進課」を設置し、さらなる県産材の需要喚起を図ってまいります。



次に、親しいの「親」でしょうか、世界とのつながりです。ミシガン州、湖南省との友好姉妹関係を進化・発展させたいとのことですが、世界情勢が複雑な状況下で、本県も政府の動きと連動し、時には交流の仕方も慎重が必要と思われる。来年度、知事は具体的にどのように取り組もうとされているのか伺います。

<知事の回答>

世界情勢や国レベルでの事情に関わらず、経済活動や市民交流などを続けることは大変重要だと認識しています。次年度は、湖南省との友好提携40周年の節目を迎えますので、記念式典の開催による対面交流の復活や、両県省の若者による次の交流の担い手の育成を図ってまいりたいと思います。



最後に、真実と心の「シン」の文字を二つ組み合わせて「真心(まごころ)」という文字ができます。観光は真心のこもった「おもてなし」が重要です。外国人観光客をコロナ以前より増やすことについて来年度の知事の意気込みを具体的な取組も含めて伺います。

<知事の回答>

京都の旅行者に滋賀への訪問を促す「そこ滋賀」の取組も、引き続き実施してまいります。また、多くの外国人が、訪日前に旅行行程を決めているケースも多いということで、いわゆる「旅マエ」にて、「シガリズム」をはじめ本県の魅力を積極的にプロモーションしてまいります。私が連合長を務める関西広域連合などとも連携し、本県が世界から選ばれるよう、着実に取組を進めてまいります。

少子化問題や景気対策、コロナ禍、急速に移り変わる国際情勢など、我が国や関西、そして本県を取り巻く状況は大変難しい局面ではありますが、知事には広域連合長として、関西をまとめるとともに、関西の中の滋賀の立ち位置も変革をおこしていただき、「シン・ジダイ」を切り拓いていただきたいと思います。是非一緒にやりましょう!



滋賀県議会議員  
厚生・産業常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員  
地方創生・DX推進対策特別委員会 委員  
関西広域連合議会議員

自民党滋賀県支部連合会  
会長代行  
第三選挙区支部  
幹事長

(地域での主な役職)

- ・草津市スポーツ協会 会長
- ・滋賀県柔道整復師会 顧問
- ・草津市バレーボール協会 会長
- ・社会医療法人「誠光会」 理事
- ・滋賀県生活衛生協会 顧問
- ・滋賀県トラック協会 顧問
- ・滋賀県電気工事工業組合 顧問
- ・滋賀ビルメンテナンス協会 顧問

活動日記毎日更新中!

奥村よしまさ 検索



LINE  
公式アカウント



# 奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F  
TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477  
TEL・FAX:077-562-4841

# 予算特別委員会・関西広域連合議会でも質問をしました。

近年の東京圏での近江牛の認知度の向上や、ラ・コリーナ近江八幡や琵琶湖テラスなど新しくかつ本県の看板となる施設も増えるなど、徐々に観光推進における努力の成果が現れてきています。

今後これまでの滋賀県に対する「通過県」という認識を解消し、さらなる観光振興を促進するにあたって、予算特別委員会では下記の質問をしました。

- ここ滋賀推進事業について
- 県がセールスマンとして“湖魚”のPR・消費拡大に取り組む事業について



▲予算特別委員会(令和5年3月3日)

関西が一丸となって広域行政を展開するため平成22年に設立された関西広域連合に、滋賀県から選出され議会に出席しています。

広域連合議会3月定例会では、2年後に大阪・関西万博の開幕を控えるなか、次年度に関西広域産業ビジョンが改訂されることを踏まえ、下記の質問をしました。

- 現行ビジョンによる取組の成果と課題について
- 第5期広域計画を踏まえた改訂の方向性について
- 関西全体の産業振興や地域経済の活性化につなげる方策について



▲関西広域連合議会3月定例会(令和5年3月4日)

# 令和5年度滋賀県一般会計予算案が可決されました。

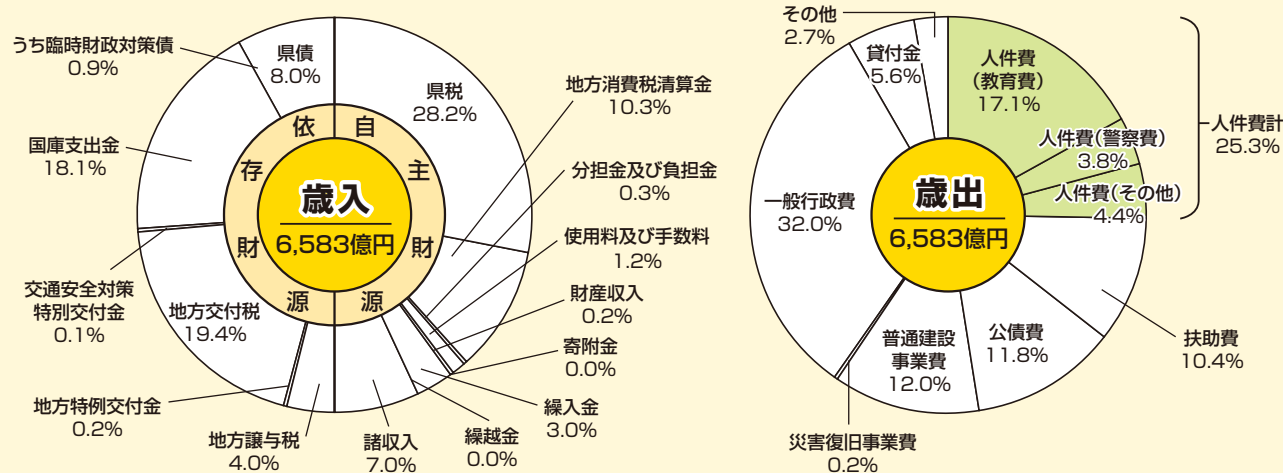
## 一般会計の総額は前年度から増加

- 通常分は、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会関係施設整備の進捗による減などがある一方、地方消費税に係る市町への交付金および都道府県間の清算金や、介護保険給付費県費負担金などの主な社会保障関係経費の増などにより、増額となっている。
- 新型コロナウイルス感染症対策分は、国において感染症法上の分類の見直しが行われるものの、具体の対応が確定していないため、現在の対策を継続して実施する前提で積算していることなどから、増額となっている。

### 予算規模

一般会計	6,583億円
対前年度当初比	・・・+142億円(+2.2%)
特別会計	2,463億円
対前年度当初比	・・・▲30億円(▲1.2%)
企業会計	1,502億円
対前年度当初比	・・・+85億円(+6.0%)

※企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。



## ●奥村よしまさ 過去4年間の滋賀県議会役員実績

### 令和元年度

- 議会運営委員会 委員
- 環境・農水常任委員会 委員
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会 委員
- 予算特別委員会 委員長

### 令和2年度

- 議会運営委員会 委員
- 教育・文化スポーツ常任委員会 委員
- 琵琶湖・気候変動対策特別委員会 副委員長
- 決算特別委員会 委員長
- 予算特別委員会 委員

### 令和3年度

- 議会運営委員会 委員
- 教育・文化スポーツ常任委員会 委員
- 行財政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会
- 決算特別委員会 委員
- 予算特別委員会 委員長
- 滋賀県議会議員定数検討委員会 委員長

### 令和4年度

- 議会運営委員会 委員
- 厚生・産業常任委員会 委員
- 地方創生・DX推進対策特別委員会 委員
- 関西広域連合議会議員 役職:理事 所属委員会:総務常任委員会、防災医療常任委員会